

平成30年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	IceCube-Gen2 実験で拓く高エネルギーニュートリノ天文学の新展開
研究代表者	吉田 滋（千葉大学・大学院理学研究院・教授）
研究期間	平成30年度～平成34年度
科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見	<p>本研究は、高エネルギーニュートリノの研究分野を確立させた IceCube 実験の次世代実験である「IceCube-Gen2 計画」のフェーズ1として、新たな光検出器を用いた実験装置を建設し、宇宙ニュートリノ事象数を倍増させるとともに、極限高エネルギーニュートリノの検出面積を10倍に引き上げようとするものである。当該分野で既に圧倒的な規模と実績を有している IceCube 国際共同実験を独自のアイデアで格段に増強するという本研究の戦略は独創的である。</p> <p>応募者らは、IceCube 国際共同実験に参画し、これまで高エネルギーニュートリノ事象を発見するなど中核的役割を担ってきており、本研究によって、次世代実験計画を先導することで、マルチメッセンジャー天文学としての新たな学理を切り拓くことに大きく貢献することが期待される。</p>